

おみせ・イベント・相談会～お休み頂く企画もありますが、営業しているものもあります

	べらしお福祉住吉東店	コブソ・カフェ	手づくりショップパンフ	Café コロたま
こんなお店	おいしい塩ラーメンが名物	おいしいコーヒーとサンドイ치가がですか	オガリ作業所のお店。パンやパウンドケーキが売ります	阪和線我孫子町駅近く。安くておいしいランチをどうぞ
開店曜日	月～金	月～金	月～金	月～金
開店時間	11:30～13:30	9:30～14:30	10:00～16:00	11:30～14:30
備考		11日(月)はお休みです		
	FamilyFriendlyらふら	みんなのマーケットるびなす	田辺大根堂	その他の「カフェ」「食堂」関係のイベントはしばらくお休みさせていただきます。申し訳ございません
こんなお店	子育て支援のグッズ販売しています	堺市南区高倉台の就労支援スーパーです	なごみ玄関でとれたて野菜と壱岐の乾物販売	
日にち	火～土	月～土	毎週木曜日	
時間	10:00～16:00	10:00～17:00	10:00～15:00	
備考				



パンプ 今月の一品

秋限定!かぼちゃの美味しい季節になりました。かぼちゃの風味ゆたかなしっとりかぼちゃあんを甘い生地で包みました。数量限定のため、ご予約でぜひどうぞ。

障がい者グループホーム夜勤スタッフ募集

グループホームとは、障がいのある方が少人数で、ご自分の住まい(家)として生活されている場所です。食事配膳やお薬のお手伝い、お話し相手、トイレや入浴など、入居者さんの生活全般の支援になります。未経験の方でもできるお仕事です!

学生さんから60代の方まで、年齢・性別問わず様々な方が働いています♪アルバイトの掛け持ちもしやすいです!

月1回から勤務OKです

無資格・未経験でもOKです



【勤務時間】18時～翌朝9時(相談に応じます)

【給与(日給)】大領15,100円・住吉13,200円

※交通費別途

【お問い合わせ】大阪市住吉区帝塚山東5-8-3

電話06-6678-7572 メール giraffe23@lifesupport.or.jp

住吉総合福祉センター 障がいグループホーム担当まで

ライフサポートだより

Vol.217 2021年10月号

(社福) ライフサポート協会
〒558-0054
大阪市住吉区帝塚山東5-10-15
TEL 06-6676-0753
ホーム <http://www.lifesupport.or.jp>
メール info@lifesupport.or.jp



重い知的障がいのある高橋さんですが、スポーツが大好きで、幼い頃から水泳・卓球・ランニングなどに取り組み、卓球では全国障がい者スポーツ大会に4回出場(金1・銀4)、スペシャルオリンピックスズで銅1回の実績を挙げてこられました

【お母さんのコメント】

菜緒で大丈夫かなと不安で一杯でしたが、三人一組での走行と知りチャレンジさせてあげたい!という思いでエントリーしました。

当日ぶっつけ本番での走行となりましたが、心配していたトーチキスや決めポーズも菜緒が分かり易い様に前後の方々に同じポーズをお願いし、声掛けをして頂き聖火を繋ぐ事が出来ました。ランナー皆さんの温かさに感謝です。

一生に一度の貴重な体験を今後の活動に生かしたいと思っております。

ライフサポート協会の「じらふ」(当時の児童デイ)から利用されてきて、「つみき」を経て現在は「大領COCORO」に通所されている高橋菜緒さんが、8月23日(月)に東京パラリンピックの聖火ランナーをつとめました

高橋菜緒さん(大領COCORO) 高橋菜緒さん(大領COCORO) パラリンピック聖火リレーつとめました!



いまだ先の見通しが立ちにくい状況ではありますが、「できないことを嘆くより、できることを考えたい」ということで、昨年度と同様に『地域と協働・地域に還元』を合言葉に「きずなバザー」を開催することになりました

今年のバザーは野外でヤバイ「きずなバザー」今年もやります

◆10月30日(土) 11:00~13:00

◆住吉隣保館横の広場(屋外です)

飲食販売や舞台発表はありません。感染対策にご協力

お願いします。お問い合わせ・バザー物品ご提供は:

小規模多機能型居宅介護きずな(南出・山内)まで...電話06-6674-2562



大領地域の家であい10周年を迎えます!

2011年5月に開設されました「大領地域の家であい」は、おかげさまで10周年を迎えることができました。なかなかみなさまの参集を得ての催しがかなわないこともあり、記念の品を作成することになりました。であいのご利用者、ご家族、地域のみなさまとの思い出の詰まった4000枚の写真から成りますタペストリーです。大掛かりな作品となりますので費用もおおよそ20万円ほどを見込んでおります。



記念タペストリー作成にご寄付をお願いします!

一口1000円

現金はであい事務所にて承ります

お振込みの場合(恐れ入りますが手数料はご負担お願いいたします)

りそな銀行 難波支店

普通口座 0563101

口座名義: 社会福祉法人ライフサポート

協会 理事長 村田 進



「一人ひとりが向き合う~コロナ禍を振り返って」

去る9月11日(土)例年開催しております「老いと向き合う講演会」を開催いたしました。和歌山県立医科大学附属病院紀北分院院長の廣西昌也先生を講師にお迎えしましたが、緊急事態宣言下での開催でしたので、和歌山からリモートでお話しいただき、参加者も会場視聴とリモート併用での開催となりました。

和歌山県立医科大学附属病院は認知症疾患医療センターにも指定されているため、先生も日ごろから「老い」に関する課題に取り組みされておられました。「よく見える」「よく聞こえる」「よく動く」が本当に薬よりもよく効く三本の矢とも言います。老いと闘おうとするのではなく「ゆるめる」瞑想する等も効果があるのではと研究されています。

【老いは文明のスカンダル】

ある日、鏡に映る老けた姿に「これって自分?」と思うようなことがないでしょうか? 社会学者の上野千鶴子氏はこのことを「老いに対する自己差別」だと言っています。交通機関で席を譲られた・若者から「おばあちゃん」と呼ばれた等で腹が立つ、これは自分自身も若くありたい=齢を重ねることへの否定的感情があるといえます。同時に広告において「●歳は誰でしょう?」等「実年齢より若く見える」ことがよいことと宣伝されています。知らず知らずのうちに老いへの「スティグマ(否定的な「らく印」、引け目)」を抱えています。



「老いは文明のスカンダル」はボーヴォワール(フランスの作家)の言葉です。本人の問題ではなく、老いへの否定的にみる社会の問題だと断じています。食べ物に気をつけるということでも中年期には重要な課題にしても、高齢者には必ずしもあたりません。「山姥上等」という表現には外見や服飾や交友関係の自由という意味も含まれています。言い換えれば性の対象からの解放でもあります。高齢者に対する社会の価値観も今一度見直してみることも必要ではないでしょうか?

【感染症と社会】

同じように感染症に罹患した人への社会的な差別や否定的な態度は、今回の感染流行時にもネット上でもありました。過去においても映画や文学では『ベン・ハー』『砂の器』『もののけ姫』『ボヘミアン・ラブソング』などでハンセン病・エイズをはじめとする感染症と差別や偏見について描かれています。特にハンセン病は法令や施策として偏見を強化されてきた歴史もあります。

今回の新型コロナウイルス流行に際しても感染リスクやマスクなどで社会にイライラ感が高まりました。こうした圧力は高齢者や子どもなど弱者により強く押し寄せます。

【感染予防で気をつけること】

新型コロナウイルスの感染経路は最終的には「眼・鼻・口」の粘膜からです。手を気にする以上に「顔を触らない」ことを意識した方がよいと思います。また「大きい声を出す傾向の人」は小声で、無理ならラップの芯を使って耳元にあてる(この程度ならば感染しない)ことも工夫できると思います。マスクをすぐ外す方については介護する人が2重にマスクするなどすれば対処可能です。いずれにしても相手への配慮が必要ですね。